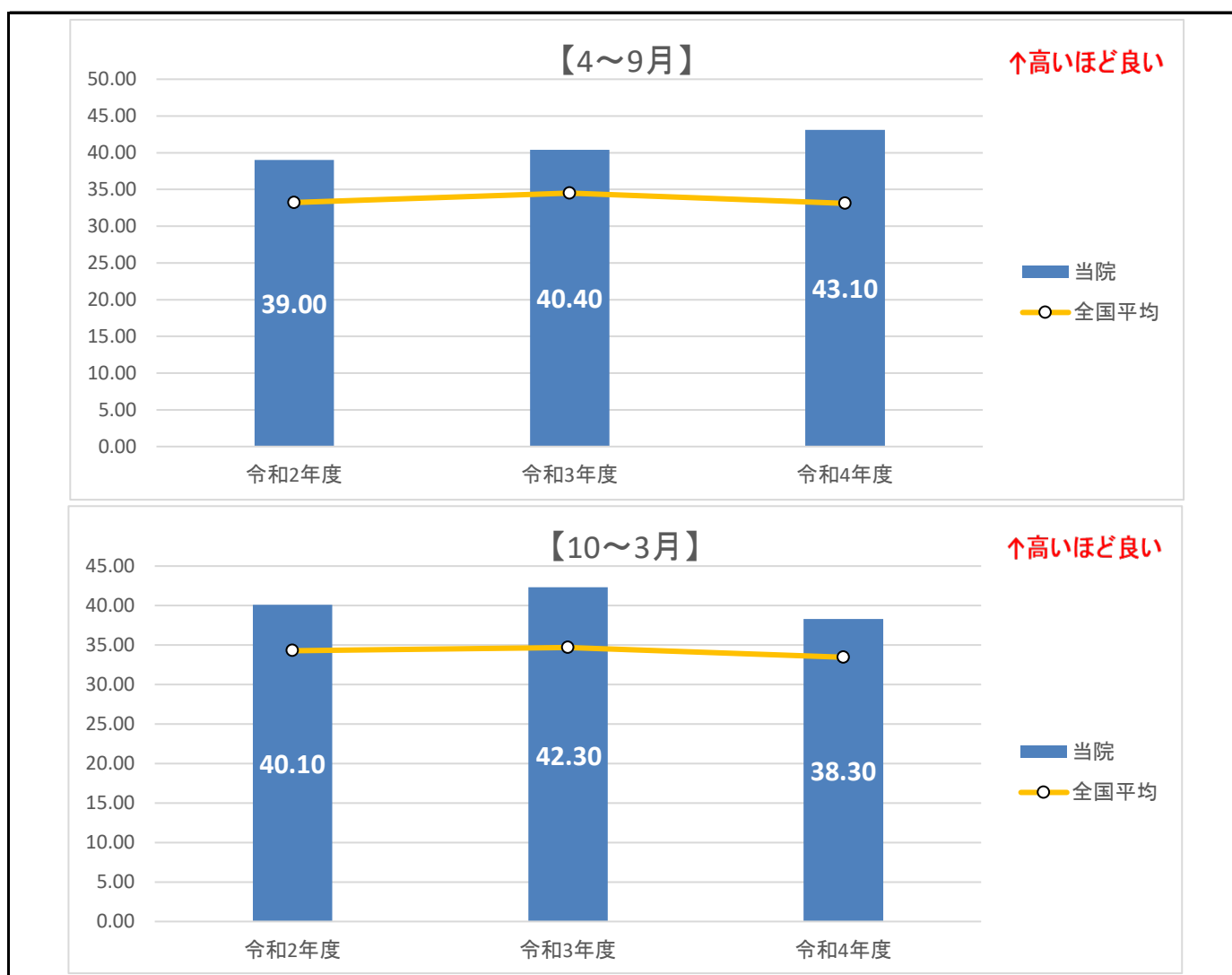


一般病棟の重症度、医療・看護必要度

解説

一般病棟における重症度、医療・看護必要度における、重症患者の基準を満たす割合を示す指標です。急性期の入院医療における患者の状態に応じた医療及び看護の提供量を反映する指標になります。重症患者の割合が高いことは、急性期医療において、より医療ニーズ（手術、処置等）や手厚い看護（看護の提供量）の必要性が高い患者を多く受け入れていることを表します。つまり、この指標が高い医療機関は急性期医療に貢献していると考えられます。ただし、診療科の構成やICUの病床数等にも影響を受けやすいため、目安の一つとして捕らえる必要があります。



【4～9月】

(単位: %)	当院	全国平均
令和2年度	39.00	33.21
令和3年度	40.40	34.50
令和4年度	43.10	33.10

【10～3月】

(単位: %)	当院	全国平均
令和2年度	40.10	34.29
令和3年度	42.30	34.69
令和4年度	38.30	33.46

項目定義

一般病棟の重症度、医療・看護必要度です。

以下の式で算出します。

(A項目2点以上かつB項目3点以上、A項目3点以上またはC項目1点以上の該当患者延数) ÷ (一般病棟在院患者延数)